

2014年5月13日

京都府議会議長、各議員団 様

日本共産党京都府議会議員団

団 長 前窪 義由紀

議会の民主的構成についての申し入れ

本日、5月臨時議会が開会しました。先に行われた知事選挙では米軍Xバンドレーダー基地計画や消費税増税問題、中小企業の多大な減少や非正規雇用の増大、賃金の減少など府民の安心安全と暮らしに関わる重要問題で府政に対する批判が示されました。

臨時議会は、こうした府民の声を踏まえ、二元代表制の議会の役割を発揮し、一年間の議会活動と今後の府政の諸課題について各議員の論戦をまとめるとともに、常任・特別委員会、予算特別委員会の正副委員長など議会の民主的構成を決定する重要な議会です。

京都府議会基本条例は、「議会は、府民から信託された議員によって構成される府民の代表機関」と定めており、その実現のためには、民意を正しく反映した公正・公平な議会役員の選出と民主的な議会運営は不可欠の課題です。

ところが、京都府議会では、正副議長をはじめ常任・特別・予算・決算委員会の正・副委員長が二十年近くにわたり「与党会派」で占められ、第三党の日本共産党が排除されるという全国的にみても不正常的な事態が続いています。

わが党議員団は、常任・特別委員会などの正副委員長を会派の議席数に応じて公正に配分するよう一貫して求めてきました。議会構成に民意を反映することは憲政の常道であり、歴史と伝統ある京都府議会として、府民的にみて不正常的な事態はすみやかに解決すべきです。

以上の立場から、5月臨時議会の開催にあたり、常任・特別委員会、予算特別委員会等の正・副委員長を各会派の議員数に応じて民主的に選出するよう強く申し入れるものです。

以上